

**献眼は
登録していなくても
できます**

ご本人が拒否の意思を
示していない限り、
家族の同意で献眼できます
年齢制限はありません

献眼についてのお問い合わせは

公益財団法人 富山県アイバンク

TEL 076-434-5710

FAX 076-436-0146

E-mail info@toyama-eyebank.com



あなたの善意を待っている人がいます



フリーアナウンサー
有働由美子

有働由美子

献眼者ご芳名

令和3年4月から令和4年3月まで

献眼年月	献眼者ご芳名	地区
令和3年4月	匿名希望	氷見市
4月	匿名希望	富山市
4月	匿名希望	富山市
4月	匿名希望	滑川市
5月	匿名希望	富山市
5月	岡本とみ子様	富山市
6月	匿名希望	富山市
6月	匿名希望	富山市
7月	鈴木 睦子様	魚津市
7月	庄司 タミ様	富山市
8月	武田 澄子様	入善町
9月	匿名希望	富山市
9月	匿名希望	高岡市
9月	小西 洋子様	富山市
9月	匿名希望	射水市
10月	豊本 睦雄様	富山市
10月	吉崎 実様	魚津市
11月	匿名希望	南砺市
11月	白川 富子様	岐阜県
12月	島田 興治様	黒部市
2月	匿名希望	氷見市
2月	匿名希望	立山町
3月	眞田巳代子様	立山町

謹んで哀悼の意を表します

厚生労働大臣感謝状贈呈式につきましては、10月15日アイバンク設立30周年記念式典にて、令和3年4月から令和4年3月まで献眼いただいた23名のご遺族様へ改めまして、ここに御礼申し上げます。

記念講演要旨

演題 「アイバンク活動と日本人
なぜ提供が進まないのかへの一私見」

講師 西田 輝夫 氏
(山口大学名誉教授、日本アイバンク協会常務理事)

プロフィール
公益財団法人日本アイバンク協会常務理事・アイバンク協会認定サポーター制度委員長・名誉会員(日本眼科学会・日本角膜学会・日本コンタクトレンズ学会・日本小児眼科学会・日本結合組織学会 他) 医学博士(大阪大学)



人生の流れは大きく「幼少期(未成熟期)」、「青春(成長期)」、「朱夏(活動期)」、「白秋(収穫期)」、「玄冬(老熟期)」の5つに分けられる。平均寿命は1947年の女性54歳、男性50歳から2020年には女性87歳、男性81歳に大きく伸びている。昔は人生50年と言われたが今は白秋期、玄冬期の時代である。

幸福とは「健康であること」「心が満たされていること」「人生の量的な豊かさ」「人生の質的な豊かさ」の4つが備わっていなければならない。人間は五感(視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚)にプラス第六感が備わっている。この五感のなかで視覚は人間で一番大切な感覚で外部情報の80%以上を入手している。ヘレン・ケラー女史は1925年のライオンズクラブ国際大会で「ライオンズの皆さん、どうか暗闇と戦う騎士になって下さい」の訴えが契機となり、ライオンズが視力保護へ力を入れるきっかけとなった。

皆さん外部情報の大部分を担っている視覚について「見えることの意味と見えなくなることへの不安」をよく考えてみてほしい。視覚における角膜の役割は、外界の光を眼内に導く「窓」で、角膜の異常により視力が低下すると、角膜移植術が必要になってくる。移植術は20世紀に医学的にも社会的にも確立された治療法である。

アイバンクは「非営利」「大臣の許可」「わが国での移植医療の大原則」のもと提供者と受容者の橋渡し役を担っている。わが国の角膜移植の現状は

常時待機患者2000人~3000人に対し、国内提供角膜は約1500眼、海外より1500眼の提供を受けている状況で絶対的な提供角膜数が不足している。また「自国で必要な臓器は自国で」の機運が高まっている。

日本における宗教心の流れをみると、「原始神道(自然崇拜)」「儒教(5世紀ごろ)」「仏教(6世紀ごろ)」「キリスト教(1549年ザビエル渡来)」「国家神道(明治時代)」と変遷しており、日常生活でも「七五三(神道)」「地鎮祭(神道)」「結婚式(キリスト教)」「クリスマス(キリスト教)」「葬式(仏教)」と入り乱れている。信仰する宗教をアンケートすると無宗教が60%を占めるが、これは信教の自由により戦後公教育での宗教の禁止が影響し無宗教化したものと思われる。

しかしどの宗教も献眼を禁止していない。宗教というよりも私たちの宗教心として原感覚としてのアニミズムが日本人の心の底辺に流れている。「身体髪膚これを父母に受くあえて毀傷せざるは孝の始めなり」の儒教の心が献眼のブレーキとなっている。私たちは知識として献眼はよく理解しているが、心情としてなきがらに傷がつくの気持ちがある。

私は2016年に妻を亡くし献眼したが、献眼は人生最後の社会貢献として、単に角膜という物体を提供するだけでなく、それを通して光という素晴らしい贈り物を提供し、新しい人生を提供するものである。

文責：筏井晴夫

設立 30周年記念大会

令和4年10月15日(土) ホテルグランテラス富山(4F瑞雲)



◀ 理事長 大黒幸雄 挨拶



▼ 理事 伊勢豊彦 大会テーマ発表



▲ 富山県知事 新田八郎 祝辞



◀ 遺族様 献花

▼ アイバンク役員一同 献花



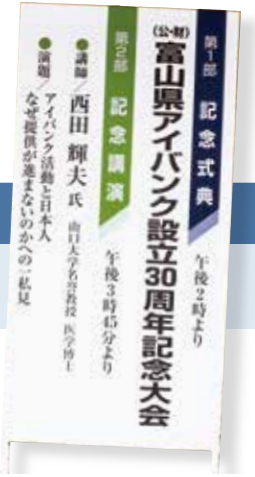
▲ 30周年記念大会シンボル慰霊塔

大会役員より理事長大黒幸雄へ
献花リースが手渡された



大会テーマ

「見えた!あなたの明るい笑顔!進めたい献眼運動!」



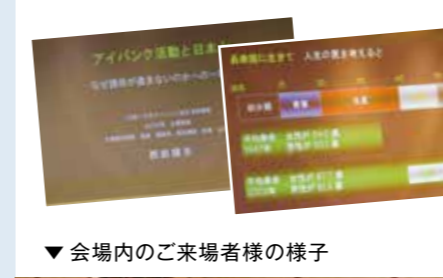
◀ 富山県知事より厚生労働大臣感謝状が
渡されました。



遺族代表のことは▶
松田憲昌様

◀ 富山県アイバンク功労者感謝状授与

▼ 記念講師 西田輝夫先生



▼ 会場内のご来場者様の様子



▲ 閉会の辞 森常務

献眼者ご遺族の手記

2022年に父・高田眞が献眼

献眼者の
息子さんから

高田 順一

父の遺志を
かなえることができ、
安堵しました。



「親子で談笑するありし日の高田眞氏」
(左)アイバンク名誉理事 故高田眞様 (右)アイバンク名誉顧問 高田順一様

01

本年7月9日早朝、父・高田眞は97歳の天寿を全うしました。前年の1月に心臓の手術を受け、100歳まで生きると話す何事にも前向きで元気な父でした。

父は仕事を愛して止まない人でした。若いときから家業の製瓶工場で働き、朝鮮動乱後の不景気を機に、販路を求めて大阪に販売拠点を作り、西日本を中心に事業を展開してきました。

そんな父が富山ライオンズクラブに入会し、奉仕活動に参加するようになりました。母と一緒にライオンズクラブの行事に参加し楽しんでいました。ライオンズク

ラブの主要なアクティビティである献眼運動にも関わり、富山県アイバンクの運営に参加するようになりました。そして8年余り理事長を務めさせていただきました。改めて皆様のご支援に感謝申し上げます。

父が亡くなり家に戻った時点で、コーディネーターと連絡がとれました。ほどなく富山大学から医師が来られ処置をしていただきました。

スムーズに父の遺志をかなえることができ、家族として安堵いたしました。

アイバンク設立30周年の式の中で新田八朗富山県知事から厚生労働大臣表彰をいただきました。父の名前を呼びあげるとき、新田知事の声が詰まったように私には感じられ、改めて感動いたしました。

2022年に母が献眼

献眼者の
息子さんから

真田 宏一

人生の最後に、母が望んでいた
皆さまへの感謝の
気持ちを達成。



◀2017年8月21日に北陸新幹線開業で家族と東京に旅行に行った際、運良く赤坂迎賓館内の観光ができました。母は脚が不自由だった為、建物内のエレベーターを利用していただきました。

02

私が献眼について知ったのは、ライオンズクラブ会員の義父から、献眼登録を勧められた時のことでした。それまで献眼について全く知りませんでしたが、登録の際のしおりや富山県アイバンクだより「光」を見るにつれて、「この事業は、目に障がいのある方が再び視力を回復することができる崇高なこと」と認識するようになりました。

生前、母に私と妻が献眼登録をしていると話をしたとき、年齢制限もなく白内障の手術を受けていても支障がないこと、また、献眼登録の手続きをしなくても献眼できることを話したところ、母も「献眼してもいいよ」と答えてくれました。

平成4年3月22日、92歳の母はこの世を去りました。亡くなる一週間前まで、家族と自宅で食事を共にしておりましたので、突然のことでなかなか現実に向き合うことができませんでした。しかし生前、献眼について話をしておりましたので、亡くなった病室でコーディ

ネーターを通してアイバンクに連絡していただき、病室で手続きをしてもらいました。1時間程ですべて終了し、亡母と一緒に自宅に帰りました。

世の中には生まれつき障がいをもって生まれてきた方がたくさんいらっしゃいます。私の近親者も障がいをもって生まれてきましたが、たくさんの方々の善意の支えで現在は楽しく明るく生活しています。

人は、外部情報の87%を視力で得ているため、目の障がいは、生きていく上で大変困難を伴います。角膜移植により目の不自由な方々に光の贈り物ができ、光の贈り物を受け取られた方々は、社会生活をより楽しく明るく過ごしていただけることと思います。

最後に母の身体はもはやこの世にありませんが、摘出した角膜により光を取り戻した方々の身体で母は生きいます。人生の最後に、母が望んでいた皆さまへの感謝の気持ちを献眼により達成できたと思っております。

Lions Club Toyama Showa

献眼登録活動について

献眼・献腎・献血・骨髄移植を推進する四献活動



大型商業施設での献眼・献血呼びかけ運動

私自身、アイバンクの存在を知ったのは、ライオンズクラブに入会させていただいてからです。

先日も富山県アイバンク様より、富山昭和ライオンズクラブの例会で献眼登録活動の歴史や活動内容について、詳しく教えていただく機会がありました。

1925年にヘレン・ケラー女子がアメリカオハイオ州で行われた第9回のライオンズクラブ国際大会で記念講演をされて以来、ライオンズクラブの大きな活動として現在も主力事業となっていること。また、日本で初めての献眼者も1957年302地区のガバナー原勝巳氏であったこ

とや、我が334-D地区では1982年に地区内全クラブに献眼登録が呼びかけられて、1986年に富山アイバンクが設立されたことなど、改めてライオンズクラブとして、アイバンクへの支援の継続の大切さを学ぶことができました。

ライオンズクラブでの大切な奉仕活動の一つとして献眼・献腎・献血・骨髄移植を推進する四献活動を行っております。当クラブでも献血と骨髄バンク登録事業は行っておりますが、同様にこれからは献眼の大切さをクラブ内でも共有をして、献眼登録の活動も積極的に推進してまいりたいと考えております。



富山昭和
ライオンズクラブ

会長 齋藤 富治



Lions Club Takaoka Alert

富山県アイバンク設立30周年 記念大会で学んだこと



高岡アラート
ライオンズクラブ

燕昇司 信夫



人生の流れを中国思想の四象で説明

人生の流れ

- 青 春：成長期15歳～30歳
- 朱 夏：活動期30歳～60歳
- 白 秋：収穫期60歳～75歳
- 玄 冬：老熟期75歳～90歳

ヒンドゥー教の「四住期」という考え方です。これは理想的な人生の過ごし方というべきもので、人間の一生を「学生期」「家住期」「林住期」「遊行期」の4つの段階に分けて考えます。最後の遊行期は、この世へのいっさいの執着を捨て去って、永遠の自己との同一化に生きようとしたのです。人類は「いかに老いを豊かにするか」ということを考えてきたといえます。「老後を豊かにし、充実した時間のなかで死を迎える」ということ。人生80年時代を迎え、超高齢化社会の現代日本は、人類の目標とでもいうべき「豊かな老後」の実現を目指す先進国になることができるはず。それは「人生の終(しま)い方の活動」としての「終活」というより、前向きな「人生の修め方の活動」としての「修活」と呼ぶべきだと思います。

人間の幸せとは何か

当然、健康そして衣食住が満たされることで

あるが、その他に必要なものとは生きがいである。自分の存在意義であることを学んだ。なぜ、献眼がすまないのか「日本人の持っている宗教のDNAが影響しているのではないか」仏教・キリスト教・神道・自然崇拜…どれも受け入れているが日本人の奥底には言葉で表現できない宗教観があるのではないかと西田輝夫氏は発言された。ライオンズクラブ会員が献眼の意味をしっかりと把握して多くの方々に献眼を敷衍する必要がある。人生最後の奉仕として、富山県アイバンク元理事長、故人井村東司三さんの最後の奉仕活動は『献眼』であった。設立当時のクラブの登録者は100%だったが現在85%である。しかし入会時に必ず登録することを薦めることが大切である。たとえ退会された会員・家族でも献眼登録の意思を継続するであろうと考える。クラブ入会時に『献眼登録』をお願いすることがアクティビティではないだろうか。



富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式 富山県臓器移植院内コーディネーター連絡会開催

富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式が開催され、アイバンク相談役の中川忠昭氏、渡辺守人氏、両富山県議会議員にご臨席いただき、森弘常務理事・片境事務局員が参加しました。「富山県臓器移植院内コーディネーター」は、臓器移植が円滑に進むように、臓器を提供する人とそのご家族様などとの連絡や調

整をする大切な役割を担います。

県は、2006年度から1年の任期を設けて毎年委嘱しており、県内22の医療機関に勤務する看護師など61人に委嘱状が渡されました。

その後、富山県臓器移植院内コーディネーター連絡会が開催され、「献眼の流れ…」について事務局片境がミニ発表をさせていただきました。



4月22日に富山県民会館にて、委嘱状交付式ならびに連絡会



ミニ発表

献眼の流れについてや、2021年度の富山県アイバンクでの献眼実績について発表しました。

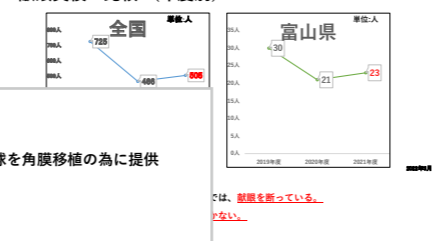
献眼とは…

献眼とは自分の死後、眼球を角膜移植の為に提供することを「献眼」と言います。

アイバンクとは…

ライオンズクラブの奉仕活動の一環としてアイバンクが設立され、献眼には富山大学附属病院の眼科医の御協力のもとに活動しております。私たちがアイバンクは移植を待つおられる方と、ご提供して下さる方との橋渡しをしております。

献眼実績の比較 (年度別)



医療従事者への啓発活動

- 富山県立中央病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院、富山市民病院において病院症例検討会を行いました。
- 富山大学附属病院、富山県立中央病院、富山市民病院、高岡市民病院の院内移植委員会に参加しました。
- 富山大学附属病院災害・救命センターにてミニレクチャーを実施しました。
- 富山県立中央病院にて啓発活動の一環として講演を行いました。



▲救命センターミニレクチャー



▲富山県立中央病院にて

Information

開催のお知らせ

「アイバンク協会認定サポーター講習会」

演題

「角膜移植とアイバンク活動について」

医学博士 西田 輝夫 先生

講習会内容は、別紙プログラムをご参照ください。
講習会費お一人様1,000円を資料代として当日受付にて集金いたします。

- 日時 令和5年3月17日(金)
- 受付時間 午後1時30分～午後1時55分
- 開催時間 午後2時～午後4時
- 場所 富山県民会館8階 バンケットホール
- 住所 富山市桜橋通り3番1号
- TEL 076-432-4111

主催 公益財団法人日本アイバンク協会／公益財団法人富山県アイバンク 共催 富山県ライオンズクラブ奉仕銀行 後援 富山県

ご芳志ありがとうございました

寄付者 | ご芳名

令和3年4月から令和4年3月

一般		個人		敬称略 単位:円	
中川 清一	500,000	百澤千賀子	10,000	木山 隆	3,000
屋根 慎二	60,000	山田 秀三	10,000	久々湊公美	3,000
澤田 寛之	50,000	藤巻 篤子	9,000	斉木 敏夫	3,000
西野 澄	50,000	中山のぶ子	8,000	佐伯 文江	3,000
河島 早苗	30,000	石田 康次	6,000	堺 美奈子	3,000
野村 謹吉	30,000	赤川詩津子	5,000	澤田 壽朗	3,000
筏井 晴夫	20,000	石橋 忠之	5,000	篠崎 宣行	3,000
小寺 千春	20,000	一芻 幸子	5,000	島 憲一	3,000
豊田 耕一	20,000	井上 政雄	5,000	下村 宏和	3,000
西田 勇	20,000	柄崎 美和	5,000	須垣 欣子	3,000
林 秀作	20,000	小川 季子	5,000	鈴木 信子	3,000
中野 忠雄	15,000	真田 律子	5,000	千龍義信・かな子	3,000
愛場 京子	10,000	志鷹 高子	5,000	高木 和夫	3,000
愛場 正利	10,000	竹田 市次	5,000	高野久美子	3,000
有澤 功	10,000	谷野 克巳	5,000	武田 慎一	3,000
石垣 誓子	10,000	田之下和美	5,000	田中由美子	3,000
魚住 久子	10,000	寺崎 壽	5,000	田谷 睦己	3,000
内河 敦子	10,000	中尾 順一	5,000	辻 美代子	3,000
大浦 均	10,000	二口 清子	5,000	出口テル子	3,000
久保 健三	10,000	堀 壽夫	5,000	出口てるみ	3,000
作村佐智子	10,000	溝口恵美子	5,000	寺澤 和美	3,000
笹島 延元	10,000	宮林 信弘	5,000	中川吏永子	3,000
下条 省三	10,000	山沢 美子	5,000	西田 努	3,000
高場 章子	10,000	牧野 武	3,500	野澤 喜一	3,000
竹嶋 一恭	10,000	朝倉 一美	3,000	畑 孝子	3,000
武田 宏	10,000	跡治 幸子	3,000	林 巖	3,000
竹部 俊恵	10,000	穴田 清	3,000	林 春江	3,000
田中 良二	10,000	飯野 順一	3,000	久田 茂光	3,000
富川 嘉久	10,000	幾島かをる	3,000	廣上 成志	3,000
中村美千代	10,000	石黒 寛	3,000	干場寿美子	3,000
西野 澄	10,000	稲場トシ子	3,000	堀 郁夫	3,000
野村 健造	10,000	稲村 栄勝	3,000	前澤 富枝	3,000
畠山 志郎	10,000	上田精弼・憲子	3,000	牧野 信行	3,000
稗苗 良二	10,000	上田 雄一	3,000	間瀬垣文善	3,000
広田 牧子	10,000	内山 照子	3,000	宮本 陽子	3,000
舛谷 専一	10,000	尾山 和子	3,000	室山 若子	3,000
松井久雄・優子	10,000	川村 豊子	3,000	目澤 益子	3,000
村上 果	10,000	岸 一雄	3,000	元野 清光	3,000

森田 明子	3,000	吉田 卓矢	3,000	沼田 敏子	2,000
門前 昌志	3,000	米澤 務	3,000	野中真奈美	2,000
矢木 義人	3,000	和田 亨子	3,000	匿名	2,000
山田 和枝	3,000	匿名	3,000	大嶋 淳子	1,000
山田志津枝	3,000	匿名	3,000	松本恵美子	1,000
吉田 幸子	3,000	笹木 弘子	2,000	若杉 吉成	1,000

一般	法人・団体	敬称略 単位:円	
医療法人社団紫蘭会	500,000	柴田医院	10,000
株式会社北陸電設	200,000	田中眼科医院	10,000
医療法人明世社白井病院	200,000	日商建材株式会社	10,000
株式会社オフィスケイ	30,000	有限会社坂東設備	10,000
片山眼科医院	10,000	辻建設株式会社	5,000

ライオンズクラブ関係		敬称略 単位:円	
富山みなとライオンズクラブ	30,000	黒部ライオンズクラブ	100,000
富山雷鳥ライオンズクラブ	100,000	上市ライオンズクラブ	100,000
八尾婦中ライオンズクラブ	108,000	高岡フラワーライオンズクラブ	100,000
大山ライオンズクラブ	27,000	氷見ライオンズクラブ	80,000
富山西ライオンズクラブ	50,000	となみセントラルライオンズクラブ	50,000
滑川有恒ライオンズクラブ	100,000	新湊ライオンズクラブ	38,000

賛助会員 | ご芳名

令和3年4月から令和4年3月

個人会員						敬称略 単位:円					
石田ひとみ	小沢 正康	佐賀野昭一郎	寺井 仁	長谷川修博	毛利 良子						
一川 順彦	片口 尚志	作村佐智子	戸澤 秀行	林 篤志	森 弘						
伊藤 光雄	片山 寿夫	笹島 康隆	豊田 葉子	林 貴文	森田 嘉樹						
今井 幹雄	金井 澄子	篠田 和男	鳥崎 真人	針山 健史	山尾 佳史						
今村 知代	鎌谷 克彦	清水 英子	鳥山 博	廣瀬 利行	山崎 和子						
植田 芳樹	上山 恵巳	杉本喜久子	中川 伸一	藤記 尚子	山崎 泰邦						
上野 弘喜	狩野 俊哉	函師 真弓	中川 正人	藤塚由紀子	山崎与四之						
梅田 清一	河原 知昭	高柳 昇	長田 雅子	藤巻 篤子	山下 泉						
大浦 均	刑部 郁子	竹本 毅	中村 孝子	堀 巖	山下 陽子						
太田 茂	串田 正二	竹本 福志	波岡 一子	松倉 正機	米山 六博						
大田 妙子	黒崎 春久	館 奈保子	新田 正昭	水野 敏博	若森 征雄						
大庭 知子	齊藤 周子	谷口 保孝	野尻津喜夫	道原 英克							
奥原喜代司	齊藤 讓一	土田 豊	野村 賢政	宮島 清							

株式会社岩黒製作所
株式会社押田建築設計事務所
久保毅税理士事務所
株式会社黒東アメニティ公社
サンユウセキュリティ株式会社
株式会社すがの印刷
株式会社セイアグリーンシステム
高瀬公認会計士事務所
東光運輸株式会社
株式会社富山県義肢製作所
富山スガキ株式会社
医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院
平田眼科医院

株式会社広野
富源商事株式会社
株式会社フシキ住設
株式会社藤井産業
有限会社北高運輸
株式会社北陸エンジニアプラスチック
北陸バンドー株式会社
マスイエンジニアリング株式会社
有限会社舩谷解体工業
丸進商事株式会社
株式会社丸八
ミユキ化成株式会社
株式会社渡辺板金工業

滑川ライオンズクラブ
滑川有恒ライオンズクラブ

高岡フラワーライオンズクラブ
となみセントラルライオンズクラブ

募金ありがとうございました

募金者 | ご芳名

令和3年4月から令和4年3月

マリエ眼科クリニック	22,159	シンコー運輸倉庫有限会社	12,727
ふうふう亭	15,535	新田眼科	2,320

当法人に頂きましたご寄付につきましては金額により、以下の税制上の免税措置を受けることができます。

- 個人で富山県に在住の方 個人所得税・個人住民税
- 個人で富山県外に在住の方 個人所得税
- 法人の方 法人所得税

詳しくは
アイバンクへ
お問い合わせ
下さい

公益財団法人富山県アイバンク 令和3年度事業報告

令和3年4月1日から令和4年3月31日

公益事業1 眼のあっせん等に関する事業

(1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行いました。本年度の新規献眼登録者数は、12名でした。

(2) 眼球あっせん事業

① 眼球のあっせん

●ドナー情報が25名あり、23名から提供を頂きました。

献眼月	年齢	性別	在住	献眼月	年齢	性別	在住
4月	70歳代	男性	氷見市	9月	80歳代	女性	富山市
	40歳代	男性	富山市		90歳代	女性	高岡市
	80歳代	男性	富山市		80歳代	女性	富山市
	70歳代	男性	滑川市		70歳代	男性	射水市
5月	70歳代	女性	富山市	10月	60歳代	男性	富山市
	80歳代	女性	富山市		80歳代	男性	魚津市
6月	80歳代	女性	富山市	11月	90歳代	女性	南砺市
	70歳代	男性	富山市		90歳代	女性	岐阜県
7月	80歳代	女性	魚津市	12月	80歳代	男性	黒部市
	100歳代	女性	富山市	2月	70歳代	女性	氷見市
8月	90歳代	女性	入善町		60歳代	女性	立山町
				3月	90歳代	女性	立山町

●提供者のご葬儀に参列し、弔辞奉読および感謝状の伝達を行いました。

●提供者ご遺族へ、角膜移植の報告を行いました。

●提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき角膜のあっせんを行い、33名の方に角膜移植を、また強膜のあっせんを行い、50名の方に強膜移植が行われました。

② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成しました。

(3) 普及啓発事業

① 医療従事者への啓発活動

●病院症例検討会を行いました。

●院内移植委員会等に参加しました。

市立砺波総合病院臓器・組織の移植に関する委員会(5月~12月)

脳死下臓器提供に関わる関連団体の連絡会議に参加しました。

3月14日 第2回臓器組織提供委員会(脳死判定委員会)に参加しました。

●啓発活動の一環として講演を行いました。

11月5日 富山県立中央病院にて講演

11月16日 令和3年度移植院内コーディネーター連絡会にて「献眼体制の変更」参加しました。

●富山大学附属病院 医局説明会

7月15日 医局説明会(第一外科医局)

1月20日 医局説明会(災害・救命センター)

富山県立中央病院 (4月~11月・2月)
富山市民病院 (5月~11月・2月)
厚生連高岡病院 (4月~11月)
高岡市民病院 (6月~3月) オンライン参加

②一般県民への啓発活動

●街頭での啓発活動

- 10月23日 にゅうぜん商工フェアまつりんぴっく2021にて献眼パンフレット・風船を配布
- 10月24日 とほ活プロジェクトの一環として富山駅前にて献眼パンフレットを配布
- 11月8日 株式会社北陸電設様にて「献眼について」のお話を行いました。
献眼パンフレット・富山県アイバンクだよりを配布

③その他

- 4月21日 富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式に出席しました。
- 6月13日 富山眼科集談会に出席しました。(オンライン参加)
- 8月19日 日本アイバンク協会第2回統計情報委員会Web会議に出席しました。
- 11月23日 富山眼科集談会に出席しました。(オンライン参加)

公益事業2 眼の衛生に関する普及啓発事業

- (1) 情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載しました。
- (2) 広報誌「富山県アイバンクだより27号」を発刊(11,000部)、登録者及び県内関係機関に配布しました。

その他

- 5月28日 高瀬、石村両監事に「令和2年度事業報告及び決算報告」の監査を受けました。
- 6月8日 令和3年度第1回理事会を開催し、第1号議案「令和2年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「定時評議員招集」について承認されました。
- 6月25日 評議員選定委員会を開催し、第1号議案「評議員任期満了に伴う後任者選任の件」について書面表決により承認されました。
評議員会を開催し、第1号議案「令和2年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「理事・監事任期満了に伴う後任者選任承認の件」について書面表決にて承認されました。
- 7月8日 令和3年度第2回理事会を開催し、第1号議案「理事長・副理事長・常務理事の選定」について、第2号議案「アイバンク組織図」について、第3号議案「評議員選定委員の選任」について承認されました。
- 11月18日 大黒理事長、牧副理事長、森常務理事、木村常務理事の立会いのもと、高瀬、石村両監事に「令和3年度中間決算」の監査を受けました。
- 2月25日 第44回全国アイバンク連絡協議会に事務局にて森常務理事がオンライン参加をしました。
- 3月14日 令和3年度理事会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告及び修正収支予算(案)」、第2号議案「令和4年度事業計画(案)」、第3号議案「定例評議委員会の招集の件」、第4号議案「設立30周年記念式典開催の件」について承認されました。
- 3月29日 令和3年度評議委員会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告及び修正収支予算(案)」、第2号議案「令和4年度事業計画(案)」、第3号議案「設立30周年記念式典開催の件」について承認されました。

今年より体制が変わりました

アイバンク事務局に連絡される場合は、**平日(月～金)朝9時～午後5時** までです。

時間外になった場合は、大学病院の眼科医に電話が転送されてしまいますので

献眼以外の連絡にはご注意ください。

貸借対照表

令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,527,145	2,387,570	139,575
未収金	440,000	280,000	160,000
流動資産合計	2,967,145	2,667,570	299,575
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	65,000,000	65,000,000	0
基本財産合計(1)	65,000,000	65,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,906,768	14,198,768	△ 9,292,000
減価償却引当資産	2,600,000	2,600,000	0
公益1事業に使用する機器整備資産取得資金	13,500,000	13,500,000	0
マニュアル印刷事業引当資産	250,000	250,000	0
公益事業引当資産	0	3,100,000	△ 3,100,000
記念事業引当資産	3,000,000	3,000,000	0
あっせん事業引当資産	500,000	500,000	0
特定資産合計(2)	24,756,768	37,148,768	△ 12,392,000
(3) その他固定資産			
什器備品	505,369	899,823	△ 394,454
電話加入権	169,538	169,538	0
その他固定資産合計(3)	674,907	1,069,361	△ 394,454
固定資産合計(1)(2)(3)	90,431,675	103,218,129	△ 12,786,454
資産合計	93,398,820	105,885,699	△ 12,486,879
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	106,282	116,885	△ 10,603
未払金	1,368,975	1,094,169	274,806
流動負債合計	1,475,257	1,211,054	264,203
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,079,661	13,371,661	△ 9,292,000
固定負債合計	4,079,661	13,371,661	△ 9,292,000
負債合計	5,554,918	14,582,715	△ 9,027,797
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	65,000,000	65,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	19,850,000	22,950,000	△ 3,100,000
正味財産合計	87,843,902	91,302,984	△ 3,459,082
負債及び正味財産合計	93,398,820	105,885,699	△ 12,486,879

公益財団法人富山県アイバンク 相談役・理事・監事名簿

令和3年7月8日現在 名誉顧問 1名・相談役 2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役会長
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

令和4年7月13日現在 理事 37名・監事 2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
理事	伊勢 豊彦	株式会社セイアグリーンシステム 代表取締役
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学附属病院 病院長 富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	有賀 玲子	富山県 厚生部長
理事	柴 雅棋	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	新田 正昭	新田眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副校長
理事	筏井 晴夫	株式会社高嶋 顧問
理事	門前 昌志	阪神グループ グループ統括本部長 執行役員
理事	熊野 清	砺波宅建企画 代表
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役部長
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役社長
理事	太田 秀夫	テレ通株式会社 相談役
理事	藤井 泰三	株式会社藤井産業 代表取締役
理事	中田 眞法	真言密宗大本山 大岩山日石寺 責任役員
理事	小松 千秋	株式会社北陸珈琲 代表取締役
理事	久保 健三	有限会社山二運輸 代表取締役社長
理事	今井 司	となみ観光交通株式会社 取締役
理事	真田 宏一	有限会社フジ企画 代表取締役
理事	原野 博明	サンエー建工株式会社 代表取締役
理事	高田 重信	富山市議会議員
理事	若井 聡志	有限会社サトシ建設 代表取締役
理事	窪田 一誠	株式会社ゴールデン・アグリ代表
理事	筏井 哲治	高岡市議会議員
理事	渡邊 一三	株式会社渡辺板金工業 代表取締役
理事	片山 和行	株式会社北越 代表取締役会長
理事	河本 隆	株式会社河本ウインド 会長
理事	杉村 憲一	小間印刷株式会社 常務取締役
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

公益財団法人富山県アイバンク 評議員名簿

令和4年8月1日現在 評議員 35名

氏名	勤務先
砂子阪和夫	株式会社砂子阪工業所 代表取締役
道井 秀樹	とやま市漁業協同組合 代表理事組合長
山森 峰克	山森建設株式会社 代表取締役
中井 盛博	株式会社サンコレクト 代表取締役
五百崎 平	いおざき印刷株式会社 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク(県議会議員) 取締役
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 代表取締役
水口 淳	株式会社LYDIA 代表取締役
黒田 康二	ニコウ産業株式会社 代表取締役
藤田 淳一	有限会社シンワ電工 代表取締役
岡本 葉子	東京海上日動パートナーズ東海北陸提携代理店 代表
入坂 文一	株式会社入坂組 代表取締役
辻井 益雄	株式会社アプリコット 取締役会長
堀川 秀樹	あおばエステート株式会社 代表取締役
笹畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役
前佛 栄一	有限会社トマトランド 代表取締役
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役
表寺 剛将	有限会社北日本新聞上市西部販売店 代表取締役
高平 伸	高新工業株式会社 代表取締役
柏原 京子	かしはら館 女将
高縁 勲	有限会社高縁自動車 代表取締役
由井 崇	由井崇司法書士事務所
竹中 勝治	有限会社ビップアート 代表取締役
若森 征雄	若森商店 代表
北林 和正	社会福祉法人Q・O・L福祉会 理事長
林 真孝	有限会社北砺ビルサービス 代表取締役
橋本 隆一	橋本商会 代表
関 勝	行政書士関事務所 代表
毛利 克彦	株式会社あづまコンクリート工業 代表取締役
水越 正之	株式会社北陸エンジニアプラスチック 代表取締役
八嶋祐太郎	八嶋合名会社 代表取締役会長
荒谷 謙治	有限会社荒谷装飾 代表取締役
嶋田 仁司	日環計量管理株式会社 代表取締役
根尾まり子	有限会社マリー旅行社 代表取締役
長原 好成	公益社団法人富山県善意銀行 常務理事・事務局長

編集後記

今年の表紙は長く続いた富山県アイバンク独自の表紙にかえて、日本アイバンクが使用しているフリーアナウンサーの有働由美子さんポスターを採用し、全国のアイバンクは一つだとの連帯感を持たせました。

今回は10月15日に当財団の30周年式典を挙行し、その記念講演の要旨や当日の様様を掲載しました。西田先生は講演の最後に私事として、奥様を亡くされたとき献眼され「献眼は人生最後の贈り物」であり、残された遺族にとってもさわやかな感情や社会貢献という贈り物をもたらすものであるという言葉が心に強く残りました。

また周年行事やこの広報誌を通じて、献眼活動がもっと県民の皆様に浸透し、待機者が少しでも減少することを祈念いたしまして編集後記といたします。

広報委員会 委員長
筏井晴夫

第 28 号



富山県アイバンクだより

発行 公益財団法人 富山県アイバンク
富山市杉谷2630 TEL 076-434-5710
発行人 大黒 幸雄

第28号/令和4年12月1日